



「令和」を揮毫した書道家
茂住菁邨書展

言霊の響

NAGOYA

令和4年

11月2日(水) - 11月8日(火)

※最終日午後4時終了

PARIS

2022.2.22-3.5

GINZA

2022.5.17-5.22

TAKAYAMA

2022.6.11-6.19

HIDA

2022.7.2-8.21



MITSUKOSHI

名古屋栄

ごあいさつ

初の個展となる「言霊の響」をパリを皮切りに巡回し、故郷の飛騨市での開催で締めくくりました。

そしてこの度、名古屋栄三越様にお声がけいただき、名古屋での初の展示ができる運びとなりました。

名古屋展に向けて新たに制作した作品も交えて展覽いたします。

どうぞご高覧ください。

飛田善樹

令和「れいわ」



(40 × 30cm)



(37 × 25cm)

万葉集典拠 「まんようしゅうてんきよ」



(29 × 35cm)

馬頭絵馬 「ばとうえま」

萬壽
「ばんじゅ」



(35 × 68cm)

萬世基
「ばんせいのもと」



(35 × 102cm)



(110 × 70cm)



(110 × 70cm)

四神
「ししん」

聖夜
「せいや」

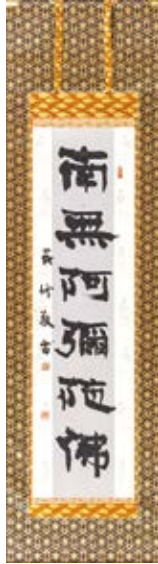


(60 × 96cm)



(138 × 34cm / 軸装)

和風慶雲
「わふうけいうん」



(120 × 33cm / 軸装)

南無阿弥陀仏
「なむあみだぶつ」



(34 × 34cm)

樂歳
「らくざい」



茂住菁邨略年譜

日展会友、読売書法会理事・審査員、謙慎書道会常任理事、大正大学客員教授。

昭和三十一年（一九五六）、飛驒市古川町に生まれる。県立斐太高等学校卒業後、大東文化大学へ進学し、青山杉雨（文化勲章受章）に師事、書の魅力を知る。昭和五十五年（一九八〇）総理府（現・内閣府）に入府。平成十七年（二〇〇五）内閣府大臣官房人事課辞令専門官となり、国民榮譽賞の賞状（高橋尚子氏以降、長嶋茂雄氏、羽生結弦氏など）や総理大臣表彰、国務大臣の辞令の揮毫を担当。

令和元年（二〇一九）四月一日の新元号の発表に際しては、「令和」の揮毫にあたった。

令和三年（二〇二一）四月から書家としての創作活動を本格化し、令和四年（二〇二二）、初の個展となる

「茂住菁邨書展―言霊の響―」をフランス・パリ、東京・銀座、高山市、飛驒市にて開催。

「お問い合わせ」茂住菁邨事務所

